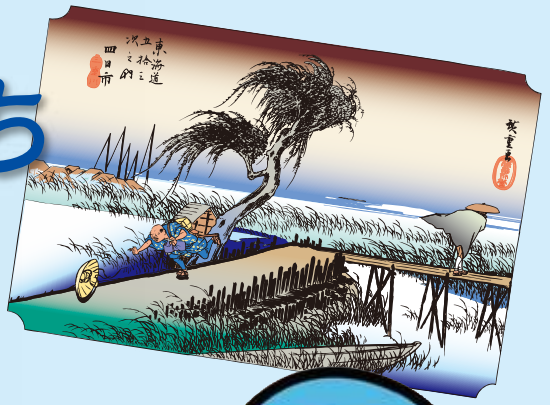


いち 「市」のまち 四日市



四日市と呼ばれる由来は
なんだろう？



承元元年（1207年）鎌倉時代の歌人・随筆家である鴨長明の伊勢記では
「行きわびぬ、いざ浜村に立ちよらん
あさけ過ぎては日永なりけり」

とあります。この浜村については四日市を指していると言われており、そこでは、主に農業と漁業を営んでいたようで、文明2年（1470年）には浜田に築城した田原美作守忠秀（たはらみまさかのかみただひで）によって、領内の殖産振興をはかるために村の北寄りに十字の大道をひらいて、市場を形成しました。

弘治・永祿（1555～1570年）のころになると市場も整い、四日市と称して毎月四の付く日（4日、14日、24日）の定期市が始まりました。これが四日市の名の起源であるといわれています。



昭和50年ごろの市場の様子（三滝川慈善橋）

